

第 25 回みのわ未来委員会 会議要録

日時：令和 3 年 11 月 30 日（火）14 時 00 分～16 時 00 分

会場：箕輪町役場 大会議室

参加者：委員 11 人（沖村委員 Zoom 参加）、町長、事務局 4 人（企画振興課）

報道機関：2 社（みのわ新聞社、長野日報社）

○協議事項 1

資料 1、主な用語説明（小野補佐説明）

・質疑

沖村委員)

産業関係でコロナ影響が大きいようだが、その他影響はどんなところにあったのか。
産業面以外の民生（1～3 章）への影響は。

町長)

健康福祉は大きく出ている、健診率はかなり落ち込んでいて心配している。
介護予防、ほとんどの年齢層で体力が落ちている。子育て教育は進んだ。

征矢委員)

常会加入率が年々減少、主な原因はなにか。

町長)

人数は減っているが世帯数が増え、分母が増えている。
実態とこの数字がストレートに結びついていない。
アパート等は加入だけではない。
コミュニティを脱退したいという方はそれほど多くはない。
2 世帯で片方しか入っていないということもある。

征矢委員)

役員負担の問題や、都会から移住してきた人がコミュニティを嫌だという傾向はあるのか。

町長)

そのような考えの人もいると思う。

横谷委員)

計画の 4-4-③で実績がいきなり 53%減から始まっているが理由はなにか。

町長)

主要6社が6割を占めている、そこが少し動くと数字がかなり動く、それ以外の中小企業は少し上がっているという状況。

横谷委員)

銀行で見ると少し増えている、おおむね順調なのではないか。

山中委員)

常会加入率は住民基本台帳ベースなのか。

町長のいったようなアパートや2世帯を精査する方法はないのか。

これでは評価が順調になるのはなかなか難しいのではないか。

町長)

加入率というのは常会費をもらっている世帯でしか集計できない。

浦野委員)

計画の4-4-②の農業の指標で農地集積率を使っているが、これを使っている理由は。

実績を見ると順調に見える、実態とあっていないのではないか。

→ 事務局で調べる。

協議事項1 → 承認

○協議事項2

資料2 (小野補佐説明)

・質疑

山中委員)

最後の高齢者が暮らしやすいまちづくり事業、実績値なしというのはどういった理由か。

小野補佐)

統計がとれていないので、前年同様実績値無しとしている。

松澤委員)

コロナの影響で努力が必要なもの、このままでも良いが5年後に見直したときに意味のない中間評価になってしまわないか。注意書き等入れた方がいいのでは。

沖村委員)

コロナの状況や工事中で利用できない状況等加味した評価にしたほうがいいのでは。

小野補佐)

かっこ書きで「(新型コロナの影響あり)」と記載させて頂く。

協議事項2 → 承認

○協議事項3

資料3 (小野補佐説明)

意見等無し

協議事項3 → 承認

○協議事項4

資料4-1,4-2 (小野補佐説明)

・質疑

竹内委員)

いい計画だと思うが、実際の動向が見えてこない。PR等しているが、改めて言われてそんなのがあったのかと知る人も多いと思う、未来委員会も含めて、ただ評価していただくだけでは人口減少等食い止める策にはならないと思う、町内の団体等と連携して取り組んでいければいいと思う。

浦野委員)

チャレンジ目標1はずっと70%以上で目標を達成している。目標としては固いところで、何か意図はあるのか。もう少し上げようとはしないのか。

町長)

そうですね。

沖村委員)

お隣の村は、郡内で唯一人口がプラスとなっている、やっている施策で功を奏している計画はあるのか、そのあたり箕輪でも取り入れられないのか。

小野補佐)

近隣市町村と比較し施策で劣っている所はない。当町もコロナ対策ではいい評価をもらっている。行政施策の差はないので、立地的な面なのか、若い層で他を選択する人は多い現状。

今後、子育てや教育事業のPRや施策PRに大きくテコ入れしなければと思っている。

イメージ戦略が非常に大事だと思っている。

沖村委員)

DXを取り入れたことは非常に良いと思う。

県のITバレー構想、一緒にやりたいと思っている。

町長)

上伊那は市町村合併を選ばなかった、南箕輪は伊那市、箕輪町から転入している人が多く、仮に合併していれば増減はない。

都市部から吸引して増えているのであれば、興味を持ち見習おうと思うが、伊那圏内から動いているだけ。

人口とすればこういう状況なので、PR、イメージ戦略が弱い、追いついていない。

横谷委員)

DXに関しては銀行でもかなりやっている、インフラ関連でDX化をしようとするとかかなりのお金がかかる。もし振興計画に載せるのであれば、しっかりと予算が付く骨太のものを是非検討いただきたい。

また、計画自体読み切れない程沢山あるので、新しいのを入れたら古いのを削った方がいい。直接結果に結びついていない施策等を削るのも大事。

箕輪の産業構造はかなり傾いている、産業構造的な施策も考えた方がいい。

みんなが集まってくるのは、製造業、工業、そういうところが助かるような、土地、上下水整備等進めるのがいいと思う。

町長)

行政DXだけでなく、トータルとしてのデジタルの街というのも入れていかなければと思っている。産業、農業等スマート化などそういうところも入れていきたい。

単なる行政改革的なDXとして考えたくない。

浦野委員)

農業をやっていて異常気象が大きな問題となっている。

ゼロカーボンが入っているが、産業の方でもこの課題を取り入れていただき、問題として捉えて足がかりに出来ればと思う。

安積会長)

英語教育、運動遊び等、町は特別にやってきている、その成果をしっかりと出して移住定住等に使えるものになるのではないか。ICTは似たことをどこもやっている印象。

やってきたことをしっかりと外に向けて示していくことが大事ではないか。

町長)

それらの成果が捉えにくい、運動力、英語力等の成果指標がない。評価しづらい。
カリキュラムがかなり入っていてそれ以外のものを入れるのが大変。

柴委員)

R5.10からのインボイス制度が導入となる、みのわテラスの小規模農家はどうなるのか、せっかく作ったのに農家から出荷できないとなるのか。

計画には入れられない話だと思うが、どうなっていくのか心配であり、お話をさせていただいた。農業に限った話ではないと思う。

山中委員)

子どもの教育について、箕輪町はすごく魅力がある。転入時も聞いていて、町民も理解していると思うが、外に対してアピールできているのか。

プログラムを組んで目標を立てているが、健康面についても重点を置いて頂きたい、それを外にアピール出来たらいいと思う。

子どもの健康は若い世帯からしたら気になるところ。

北原委員)

健康面、運動遊び等回数増えるのは子どもたちも親も嬉しいことだと思う。

山中委員)

現場の声を外にアピールできるといいと思う。

町長)

色々研究して町の成果は出して行きたい。

協議事項4 →承認

○その他

資料5 情報提供として、新型コロナウイルス感染症対策予算状況（小野補佐説明）

次回の会議日程を調整依頼し、閉会。